



Салам! (ごあいさつ)

Саламатсыздарбы。(みなさん、こんにちは。)2022 年 7 月から、中央アジアのキルギスという国に青少年活動隊員として派遣されています。慣れない言葉や文化にあたふたしていたら、いつの間にかこちらに来てもう半年が経ってしまいました。この場をお借りして、これから少しずつ、この国のこと、ここでの暮らしや仕事を通して考えたことなどをお伝えしていきます。

記念すべき第一回目は、派遣が決まったときに、「どこに行くんだったっけ? イギリス? キリバス?」といういろんな方に聞かれた国、キルギスについて紹介します。

Кыргызстан (キルギスについて)



キルギスは中央アジアに位置しています。日本の半分ほどの面積の国に、およそ 670 万人が暮らしています。もともと遊牧民だった



キルギス人は、移動式の家 ^{ボズ} ^{уй} ^{боз уй} をとても

大切にしていました。そのため、国旗の真ん中には ^{боз уй} の中から見上げた天井と、そこから見える輝く太陽がデザインされています。キルギス人にとって、天井の最頂点は家の中で最も重要な部分で、祖先の魂が宿る場所、そして和睦と団結の象徴と言われています。祖先や家族とのつながりを大切にする考えが、生活の中にも強く根づいているように感じます。

(地図・国旗は外務省ホームページから引用)

キルギスは、全体の 40% が標高 3000m を超える山国です。首都ビシュケクの中央にあるアラトー広場からは、真っ白な雪に覆われた天山山脈を望むことができます。首都から車で一時間も行けば、キルギス最大のアラアルチャ国立公園があります。軽い登山だよ、と言われて登って見ましたが、国外からわざわざトレッキングのために来る観光客もいるほどの、なかなかハードな山でした。運動不足の私には大変でしたが、そのぶん高所からの景色がとてもすばしかったです。



そしてキルギス最大の観光名所と言え、イシク・クル湖です。琵琶湖の約 9 倍の大きさの古代湖で、まるで海のように見えます。Ысык көл (湖) という名前の通り、マイナス 20℃ を下回る冬でも凍りません。夏には現地の人から「どうしてイシク・クルに行っていないの?」と言われるくらいメジャーなバカンス先で、海のないキルギスでは貴重な水場です。

キルギスに来た 7 月には 40℃ を超える気温で外を歩くのも一苦勞でしたが、1 月中旬はなんとマイナス 20℃ という予報に心から震えあがっています。みなさんもお体にお気をつけて。

Көрүшкөнчө! (それでは、また!)